

RS232C-TCP/IP メディアコンバータ (C2S)

操作説明書

1.01版

2008年9月20日

株式会社アドバンスドブレイン

制定・改版・履歴

版数	年月日	区分	内容・理由	承認
1.00	2006/07/10	初版		
1.01	2008/09/20	改版	TCPサーバ/クライアントに対応	

(注意事項)

- 本書を無断で他に転載したり、複写したりしないようにお願いいたします。

Copyright 2006 Advanced Brain Corporation All Rights Reserved

Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国、および、その他の国における商標です。

RS232C-TCP/IP メディアコンバータ (C2S) 操作説明書

第1.01版
発行

2008年9月20日
株式会社アドバンスブレイン
〒171-0014
東京都豊島区池袋2 - 61 - 51

はじめに

本ソフトウェア「RS232C-TCP/IP メディアコンバータ (C2S)」(以降「C2S」と称します)は、RS232Cインタフェースを使用する機器、または、ソフトウェアをTCP/IPに変換して通信を行い、遠隔地から制御することを可能にします。

主な仕様

RS232C仕様:
COMポート:1~9
その他Windows使用に準じる

ソケット仕様:
タイプ:TCP/IPサーバ、または、TCP/IPクライアント
サーバポート番号/クライアントポート番号:任意
アクセプト数:1

動作条件

動作条件は以下の通りです。

ハードウェア環境

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| ● パソコン仕様 | IBM-PC/AT互換機 |
| ● 推奨CPU速度 | 1GHz以上 |
| ● 推奨メモリ容量 | 256MB以上 |
| ● 推奨ハードディスク空き容量 | 100MB以上 |
| ● 推奨画面解像度 | 1024×768以上 |
| ● 使用表示色数 | 16bit(High Color)以上 |
| その他 | COMポート(USB変換ケーブルでも可)
LANポート |

ソフトウェア環境

- オペレーティングシステム Microsoft Windows XP(日本語版)
又は
Microsoft Windows 2000(日本語版)

本書に関する注意事項

- 本書を良くお読みになり、正しくお使いください。
- 本書に記載した画面表示内容は、実際の画面表示と異なる場合があります。
- 本書は、Microsoft Windows、および、Microsoft Windows上で動作するアプリケーションの使用経験があり、基本操作について理解している方を想定して記述しています。

目次

はじめに	3
主な仕様	3
動作条件	3
本書に関する注意事項	4
1 インストールとアンインストール _____	6
(1) インストール.....	6
(2) アンインストール.....	6
2 起動と終了 _____	6
(1) 起動.....	6
(2) 終了.....	7
3 使ってみる _____	8
4 うまく通信できない場合 _____	11

1 インストールとアンインストール

(1) インストール

インストーラは存在しません。com2soc.exe を任意のフォルダにコピーしてください。

(2) アンインストール

com2soc.exe を削除してください。

2 起動と終了

(1) 起動

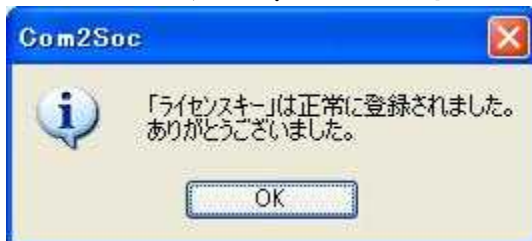


com2soc.exeアイコン()をダブルクリックします。

ライセンスキー登録していない場合は以下のメッセージが表示されますので、ライセンスキーを入力して「OK」ボタンをクリックしてください。既にライセンスキーを登録している場合はへ進みます。



正しいライセンスキーが入力された場合は以下のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックした場合はへ進みます。



ライセンスキーに誤りがある場合は以下のメッセージが表示されますので、「はい」をクリックして再入力してください。「いいえ」をクリックした場合はへ進みます。



ライセンスキーを入力しない場合「キャンセル」ボタンをクリックしてください。以下のメッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。5分後に「Com2Soc」は終了します。



以下のメイン画面が表示され起動完了です。



(2) 終了

メイン画面の右上の「x」ボタンをクリックしてください。

ライセンスキーが登録されていない場合は5分で以下のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。



3 使ってみる



TCP/IPタイプを選択する

本アプリケーションをTCP/IPクライアントにする場合は
「IN Com ... Soc OUT [TCP client]」を選択します。

本アプリケーションをTCP/サーバにする場合は
「IN Soc ... Com OUT [TCP server]」を選択します。

TCP/IPポート番号を指定する

本アプリケーションがTCP/IPクライアントの場合は
接続先サーバの指定ポート番号を指定します。

本アプリケーションがTCP/IPサーバの場合は
デフォルトでは「5510」番になっています。特に問題が無い場合はそのまま使用してください。
他で使用中のため「5510」番が使用できない場合は任意の番号に変更してください。

TCP/IPアドレスを指定する

本アプリケーションがTCP/IPクライアントの場合は
接続先サーバのIPアドレスを指定します。

本アプリケーションがTCP/IPサーバの場合は
不要です。(ディセーブルになっており、入力できません)

開始する

「Connect」ボタンをクリックしてください。正常の場合は「Disconnect」ボタンと「Config」ボタンのみがイネーブル状態になり他はディセーブル状態になります。

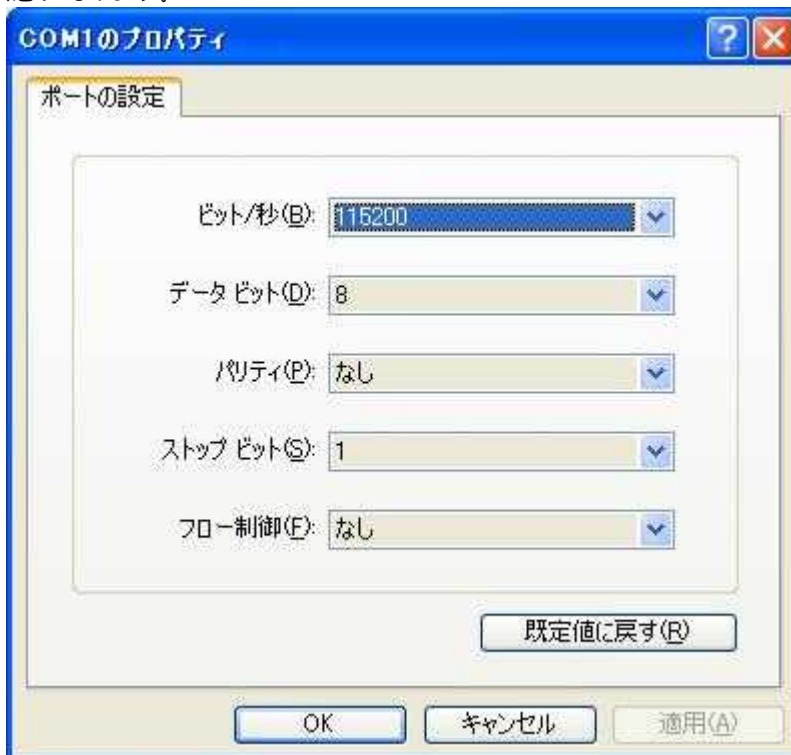


COMポートを設定する

「Config」ボタンによりCOMの設定を変更します。

以下の画面が表示されますので、各項目を設定後「OK」ボタンをクリックしてください。

なお、「Config」ボタンは「Connect」ボタンをクリックして接続状態になったときのみイネーブル状態になります。



COM接続に失敗した場合は以下の画面が表示されますので、指定したCOMポートが存在するか、または、使用中かどうかを確認してください。



ソケット接続に失敗した場合は以下の画面が表示されますので、指定したポートが使用中かどうか確認してください。



停止する

「Disconnect」ボタンをクリックしてください。

4 うまく通信できない場合

COM設定内容が違っている可能性があります。「config」ボタンをクリックして設定値を確認してください。